

阪急東向日南踏切下の水道管耐震化工事施工中



向日市では、阪急東向日駅南側の踏切下を横断する水道管(直径15cm)の老朽化に伴い、踏切の北側に新たな水道管(直径20cm)を埋設する工事を行っています。

現在の管は、阪急を横断し市内の東西を結ぶ主要な管として昭和28年に埋設されましたが、60年近く経過しています。新たに埋設する管は耐久性に優れ、耐震機能を有した管であることから、災害時でもより安定して水が供給できることになります。

なお、工事は11月末まで夜間(午後10時～午前6時)に実施しています。

線路の横断部分(延長約22m)の工事(地中を掘りながら管を押し込む推進工事という工法)は完了し、現在、既設管と接続するための連絡工事を進めています。

本市では、災害時でも市民の皆様へ安定した水を供給するため老朽した管や耐久性の低い管などの取り替え工事を順次実施してまいります。

工事中はご不便、ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

平成22年度 水道事業会計決算報告

本市の水道事業は、生活様式の変化や少子高齢化の進行、節水機器の普及などにより、給水量が減り収益が減少傾向にある中、これまでから職員数の削減や浄水場の一元化など経常経費の削減に取り組んできました。

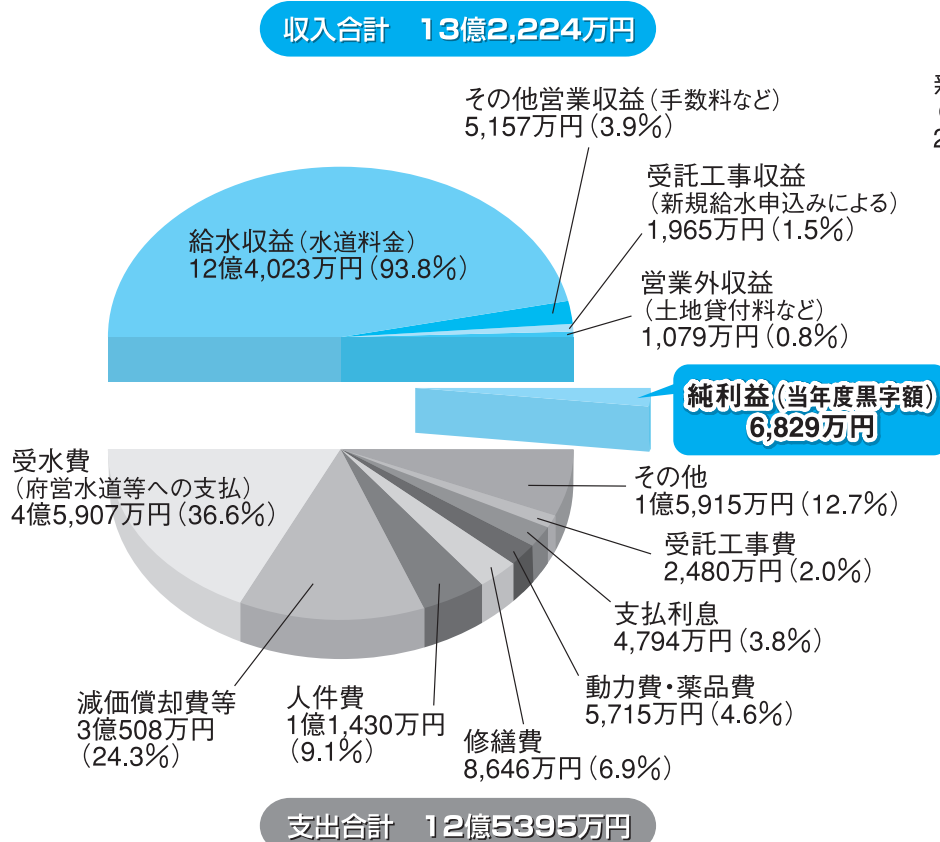
平成22年度水道事業会計は、引き続き効率的な事業の推進に努めたことにより、純利益が6,829万円となり、昨年に続き4年連続で黒字決算となりました。

また、これに伴い、累積欠損金は6億2,934万円に縮減しました。

今後も水道事業の健全化を図るため、一層の効率化を進め、水道水の安定供給と市民サービスの向上に努めます。

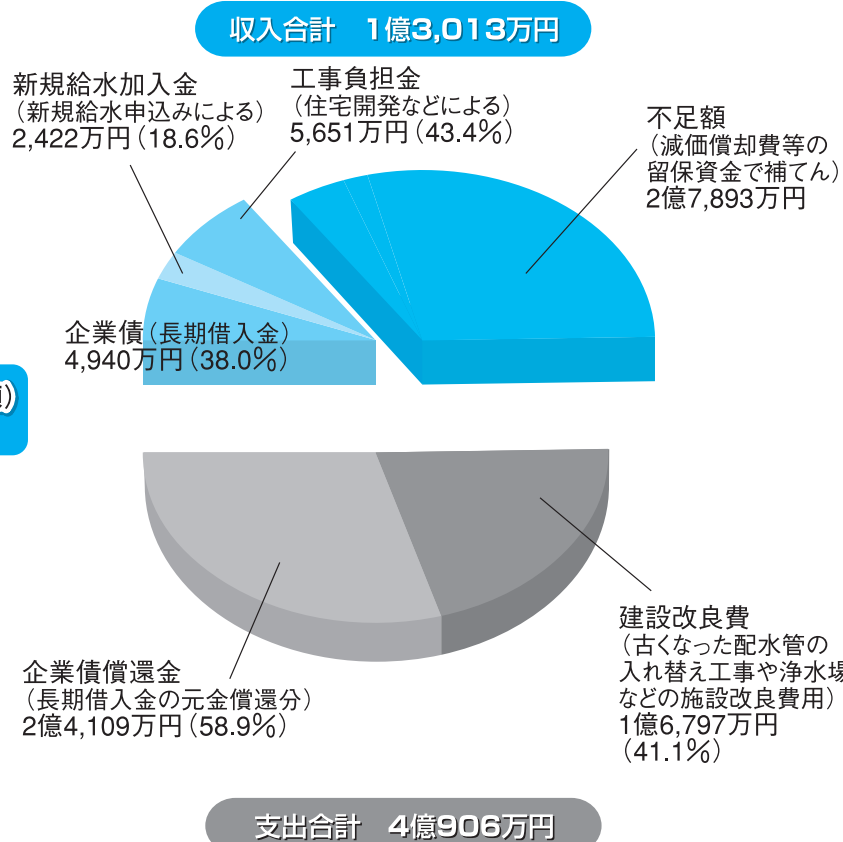
◎収益的収支(税抜)

水道料金などの収入内訳と、水道水をつくるのにどれだけ費用がかかったかを示したもので、企業の経営状況を表しています。



◎資本的収支(税抜)

企業債等の借入金や工事負担金などを収入として、浄水場や配水管などの施設改良費用と借入金の元金償還金を示したもので、施設の改良などにかかるもの。



平成22年度に実施した主な事業

老朽配水管布設替工事	645m	公道下の漏水調査及び修理
開発に伴う配水管布設工事	5件	排水処理設備汚泥ケーキ搬送用コンベア修繕(物集女西浄水場)
鉛給水管の取替工事	248件	中央監視制御設備更新工事(物集女西浄水場)

お問い合わせ

営業課 経営係 (内線 882)